

**製品名: nNOS (神経細胞) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87245**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:200-1:500, IP 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:161 kDa; Observed MW:161 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	nNOS (neuronal)
別名	NOS; bNOS; nNOS; IHPS1; N-NOS; NC-NOS
遺伝子 ID	4842
SwissProt ID	P29475
免疫原	ヒト nNOS (神経細胞) の合成ペプチド

**背景**

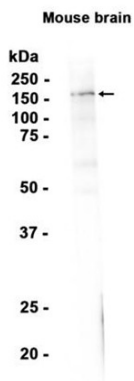
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、L-アルギニンから一酸化窒素を合成する一酸化窒素合成酵素ファミリーに属しま

す。一酸化窒素は反応性フリーラジカルであり、神経伝達、抗菌作用、抗腫瘍作用など、様々なプロセスにおいて生物学的メディエーターとして作用します。脳および末梢神経系において、一酸化窒素は神経伝達物質として多くの特性を示し、脳卒中や神経変性疾患に伴う神経毒性、蠕動を含む平滑筋の神経制御、そして陰茎勃起に関与していることが示唆されています。このタンパク質は普遍的に発現しており、骨格筋で高い発現レベルを示します。この遺伝子には、5' UTRが異なる複数の転写バリエーションが報告されていますが、これらの転写産物の全長は不明です。さらに、この遺伝子には、異なるアイソフォーム（一部は精巣特異的）をコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2011年2月]

## 研究分野

-

## 画像データ



nNOS (ニューロン) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。